

「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する その1

一武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムにおける ジャンル(カテゴリー)指定を手掛かりに

川瀬綾子、北克一

1. はじめに

TSUTAYA は一般には、映像 DVD、音楽 CD、コミック等のレンタル業種として認知されている。しかし、TSUTAYA の経営母体であるカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（増田宗昭代表取締役社長兼 CEO；非上場；以下、CCC）は、「T ポイント」と呼称されるポイントサービスの「T カード」の発行主体として事業を展開する。2015 年 6 月末の「T カード」の会員数は 5,431 万人、総発行枚数は 1 億 7,464 万枚、提携企業数は 125 社とされている¹。「T カード」の提携先企業は、TSUTAYA を展開する CCC²にシステム使用料を支払い、これが CCC のカード事業の収益となっている。

また、CCC は生活提案型の複合商業施設「T-SITE」の開発、展開を行っている。代官山 TSUTAYA 書店を中核とする代官山 T-SITE、二子玉川の TSUTAYA 家電、梅田蔦屋書店など多くの注目を集める多様な複合商業施設を展開している³。なお、本稿では、VTR、DVD や音楽 CD のレンタル事業から発展・変化してきた書店形態を「TSUTAYA 書店」と記し、新しく開発された生活提案型と自称する新業態の「書店」を「蔦屋書店」と表記し、区別する。

さらに 2013 年 4 月佐賀県武雄市において CCC は指定管理者として図書館業務を受託、新装開館している。（以下、CCC の委託管理図書館を「ツタヤ図書館」と表記）「ツタヤ図書館」については、多くの論議、毀誉褒貶があるが⁴、また神奈川県海老名市において 2015 年 10 月に、第二の「ツタヤ図書館」の展開を行っている。また、愛知県小牧市では、「ツタヤ図書館」への展開を巡って住民投票が行われ、拒否意見が相対的な多数を占め、委託自体の是非が問われている⁵。さらに、「ツタヤ図書館」の開館準備中、導入検討中のところには、宮城県多賀城市、岡山県高梁市、山口県周南市などがある⁶。

本稿では、武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)区分を手掛かりに、「ツタヤ図書館」の資料配列の区分「規則」を検証する⁷。なお、本稿は成人資料の区分を扱い、児童資料、児童文学関係については、稿を改めた⁸。

2. 武雄市図書館の OPAC でのジャンル区分

武雄市図書館の検索・予約システム⁹では、対象資料は図書・雑誌・AVの内から、チェックボックスで指定する。検索項目は、タイトル、著者、出版者、キーワードである。「絞り込み」条件欄の項目の一つに「ジャンル」がある。「ジャンル」は3階層に分かれており、第1層でプルダウンメニューから第一ジャンルを指定すると、第二ジャンルのプルダウンメニューが指定できる。さらに第二ジャンルで項目を指定すると、第三ジャンルの区分指定ができる¹⁰。

図1 武雄市図書館の検索・予約システム



第一ジャンルには24区分がある。TSUTAYAグループにおける独自分類(ライフスタイル分類)である¹¹。以下に、第一ジャンルの区分を表示順に列挙する。

表1 武雄市図書館の第一ジャンル 24区分

PC	社会
コミック	人文
デザイン・アート	政治・国際
ビジネス	生活・趣味実用
医療・看護福祉	文学・文芸書
技術	法律
教育	旅行
経済	料理

建築	歴史・郷土
語学・参考書	児童書
産業	AV 資料
自然科学	その他

このライフスタイル分類は、日本十進分類法（以下、NDC）の総記及び学問分野、観点による分類法と異なる。むしろ、事象(トピックス)型分類法の要素が強いように見受けられる。また、項目「児童書」のように利用対象者による区分ジャンルや、項目「AV 資料」のように資料形態による区分ジャンルも存在する。

一般的な評価としては、大型書店の商品区分として理解できる。「ツタヤ図書館」のライフスタイル分類の元は、TSUTAYA グループを中心とする TBN(TSUTAYA ブックネットワーク)における店舗経営、商品管理、マネジメントなどでの必要性から生み出され、発展したものと類推される。

見方によれば、このライフスタイル分類は、日本図書コードの分類コード(C コード)の 3 組構造を、平面展開したようにも見える¹²。

3. 海老名市立中央図書館(ツタヤ図書館第 2 号)

海老名市立図書館は、中央図書館(館長 ; CCC 高橋聡図書館カンパニー長)を CCC が指定管理で運営し、有馬図書館(TRC 松田彰館長)を TRC が運営している。なお、両館の統括館長を TRC の谷一文字会長が務めている¹³。

本稿で検討対象としている「ライフスタイル分類」について、谷一は「出会いはいいが、返却後に返せなくなる、本がさがせなくなるのではないか。(中略)率直なところ、あの分類は図書館としてはノーだ。」と手厳しく語っている¹⁴。

3.1 海老名市立中央図書館のフロア配置と資料群

海老名市立中央図書館は、地上 4 階、地下 1 階の 5 フロア構成である。同図書館の図書館案内¹⁵、及び『HUFF POST SOCIETY』の記事¹⁶を参考に、フロア構成を述べる。

吹き抜けのメインフロアの 1 階は、「Library & Café」が中心のフロアである。中心をなす蔦屋書店エリアは、600 タイトル以上のマガジンストリート及び付加価値のある文具、雑貨などを展開している。話題となるスターバックス・コーヒーもこのフロアである。図書館エリアには、「政治、国際」のジャンル、雑誌、新聞などが配架されている。

地下 1 階には、文学・文芸書のジャンルを配置する。小説などでは、作家名の五十音順に

配列している。

2階はライフスタイル関係のジャンルを集めた図書館フロアである。「料理」、「住まいと暮らし」、「旅行」、「スポーツ」、「アート」などのジャンルが配されている。「ツタヤ図書館」の特色をなすライフスタイル・フロアである。

3階は「Library & Studyspace」とされ、「社会」、「教育」、「歴史・郷土」、「産業」、「語学」などのジャンルが配置されている。90席の学習室も並置されている。

4階は「Kid's Library」と「蔦屋書店」が展開している。

同図書館の全体像を概観してみれば、CCCグループが運営する複合型「ツタヤ図書館」の主要な展開は、1階の「Library & Café」(実際は「TSUTAYA & Café」)エリア、及び2階の「ライフスタイル図書館」エリアと考えられる。

ではこのフロア配置において、図書館利用者の資料へのアプローチ手段はどのようになっているのだろうか。本稿では、資料への多様なアプローチを提供するOPACに注目した。

3.2 海老名市立図書館のOPACでのジャンル区分

海老名市立図書館の検索・予約システムは、一般用とこども用に分かれる。本節では、一般用OPACについて評価する。

図2 海老名市立図書館の検索・予約システム

The screenshot displays the search interface of the Ebinuma City Library OPAC. At the top, there is a navigation bar with links for 'TOP', '検索・予約', '新着図書', 'ランキング', 'イベント', and 'こどもとしまかん'. Below this is the '検索・予約' section, which includes a search bar and a '検索する' button. The '詳細検索' section is expanded, showing various filters: '対象資料' (with checkboxes for 図書, 雑誌, AV), '種別' (with dropdowns for 書籍, 雑誌, AV), 'キーワード', 'ISBN', 'ジャンル' (with dropdowns for 大ジャンル, 中ジャンル, 小ジャンル), '住居', '曜日', '出版年' (with year range dropdowns), and '巻次'.

ジャンル： 大ジャンル

 中ジャンル

 小ジャンル

 仕切

 細目

※再検索時など、ジャンルがうまく表示されないときは「入力内容をクリア」を押下してください

3.2.1 一般用検索・予約システム

「書誌検索」では、同一画面に「かんたん検索」(簡易検索)モードと「詳細検索」モードが、同時に表示される。

対象資料は図書・雑誌・AV をチェックボックスで指定する。対象館は、中央図書館 (CCC 受託)、有馬図書館(TRC 受託)ほか、3つのステーションが選択できる。

3.2.2 一般的な検索項目：「詳細検索」モード

一次検索項目として、書名、著者名、出版者、キーワード、ISBN の入力項目がある。二次検索項目として、NDC 分類、出版年指定、巻次の項目があるが、単独検索項目でなく、絞り込み検索機能である。

3.3 ライフスタイル分類：「ジャンル」という区分項目

先に見た武雄市図書館と同様に、海老名市立図書館においても「ジャンル」という名称の下に、特異な項目区分が適用されている。「ジャンル」は、大ジャンル、中ジャンル、小ジャンルに階層化されている。このジャンルという区分が、一般の図書館で使用される NDC に代わるツタヤ図書館の資料分類体系であることが、類推される。なお、ジャンルによっては、小ジャンルの下位区分に「仕切」－「細目」という下位区分が存在している。

以下に、第一次区分の 29 の「大ジャンル」を列挙する。

表 2 海老名市立図書館の大ジャンル 29 区分

料理	政治・国際
旅行	社会
住まいと暮らし	法律
美容・健康	IT
ファッション	自然科学

スポーツ・アウトドア	産業
趣味実用	技術
人文	建築
児童書	医療・看護福祉
語学・参考書	教育
文学・文芸書	雑誌
歴史・郷土	コミック
アート	洋書
経済	AV 資料
ビジネス	

これらの「大ジャンル」には、「料理」、「旅行」、「住まいと暮らし」、「美容・健康」、「ファッション」などといった NDC 第一次区分とは異なるユニークな区分肢が展開されている。また、「雑誌」、「コミック」、「洋書」、「AV 資料」という主題とは異なる書店の商品管理区分も混在している。

また、ジャンル「コミック」、「洋書」は、OPAC 上での絞り込みキーではあるが、配架場所とは連動していない。事例を示しておく。書誌レコードの「ジャンル」欄及び所蔵情報の「所蔵場所」に注目されたい¹⁷。

表 3 ジャンル「コミック」、「洋書」の所蔵場所

事例 1：ジャンル「コミック」

漫画歴史大博物館

松本 零士/編 日高 敏/編

出版者：ブロンズ社

出版年：1980.4

ジャンル：コミック/コミック/コミック/コミック

NDC 分類：726.101

所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：1 件)

所蔵館	所蔵場所(棚番)	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	文学文芸書 (750113)	/726/マ/	110046588	一般図書	帯出可	貸出可

なお、棚番は検索結果の出力票の地図表示と連動している。ただし、飾り棚配架の資料は地図表示が表示されない。また、以下の事例では棚番の表記については省略する。

事例 2 : ジャンル「洋書」

Appreciations of Japanese Culture 日本文化論

Donald Keene/by

出版者 : Kodansha Interna

出版年 : 1981

ジャンル : 洋書/洋書/洋書/洋書

NDC 分類 : 361

所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数 : 1 件)

所蔵館	所蔵場所(棚番)	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	旅行	F/361/K/	111080230	一般図書	帯出可	貸出可

一方、「人文」、「語学・参考書」、「文学・文芸書」、「自然科学」、「産業」、「技術」のような NDC の第一次区分と一見すると親和性のありそうな区分枝もある。また、「経済」、「法律」、「建築」など NDC の第二次区分で登場する区分枝も登場している。

さらに、「雑誌」、「コミック」、「洋書」、「AV 資料」という主題とは異なる書店の商品管理区分も混在している。

この「大ジャンル」は先に引用した武雄市図書館の 24 区分とも異なる。CCC による武雄図書館の 2 年半の運営経験の反映、「蔦屋書店」、「T-SITE」等の新しい事業モデル展開の中での必要性などから、海老名市立図書館の OPAC で展開されている現在の 29 区分のジャンルがあると考えられる。以下に、武雄市図書館のジャンル区分と比較・検討する。

3.3.1 新しく追加された大ジャンル：ライフスタイルへの提案か

海老名市立中央図書館で新しく追加された大ジャンルは、「料理」、「住まいと暮らし」、「美容・健康」、「ファッション」、「スポーツ・アウトドア」、「雑誌」、「洋書」の 7 ジャンルである。

このうち、「雑誌」、「洋書」を除いては、いずれも「3.1 海老名市立中央図書館のフロア配置と資料群」で確認した 2 階の資料群に対応するジャンルと考えられる。いわば、CCC による「新しいライフスタイル」の提案のアピールを反映していると考えられる。ジャンル「洋書」も追加されているが、これは海老名市立中央図書館の一部の蔵書構成を反映させたものと思われる。

3.3.2 ジャンル名称の変更

ジャンル「アート」が「デザイン・アート」へ、ジャンル「PC」は「IT」と変更があるが、下位区分を参照するとジャンル名称の形式的な変更であり、内実の変更ではない。

3.3.3 消えたジャンル「その他」

武雄市図書館にあったジャンル「その他」は、海老名市立中央図書館では「3.3.1 新しく追加された大ジャンル」で取り上げた「料理」以下の生活スタイル関連の7ジャンルに展開したものと考えられる。

3.4 「中ジャンル」

次に、「ライフスタイル分類」の「大ジャンル」の下位区分である「中ジャンル」を見ていきたい。

3.4.1 特有の「大ジャンル」の下位区分：事例「料理」、「旅行」

特有の「大ジャンル」の事例として、一般的に展開内容が理解しやすいジャンルである「料理」、「旅行」を見ておこう。

表4 「大ジャンル」事例；「料理」、「旅行」

大ジャンル	中ジャンル
料理	キッチン おもてなし 食卓のレシピ お酒 教養/読物 料理

事例1：ジャンル「料理」

何度も作りたくなる決定版お持ちよりレシピ

阪下 千恵 // 著

出版者：新星出版社

出版年：2015.11

ジャンル：料理/食卓のレシピ/日々のごはん/おもてなしレシピ

NDC 分類：596.4

所蔵館	所蔵場所（棚番）	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	新着本	/596/サ/	112752902	一般図書	帯出可	貸出中

大ジャンル	中ジャンル
旅行	テーマ別旅行

国内旅行
海外旅行
旅行シリーズ別
観光事業
旅行地区
旅行

事例 2：ジャンル「旅行」						
地球の歩き方 B22						
地球の歩き方編集室 // 編集						
出版者：ダイヤモンド・ビッグ社						
出版年：2015.11						
ジャンル：旅行/海外旅行/南アメリカ/アルゼンチン						
NDC 分類：290.93						
所蔵館	所蔵場所	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	新着本	290/f/2-22	112750765	一般図書	帯出可	貸出可

「大ジャンル」の事例として取り上げた「料理」、「旅行」ともに、下位区分の「中ジャンル」には独特の展開が並ぶ。先に引用した TRC の谷一が「どう見ても素人がタイトルや単語だけを見て判断したとしかいえない分類がある。たとえば著名な作家の食べ物に関する随筆が、料理本に分類されているような例だ。」¹⁸、と指摘した著名な作家の食べ物に関する随筆は、このライフスタイル分類では、「料理—教養/読物—グルメエッセイ」の系に分類される。一般的な図書館の分類である NDC に慣れていると、「素人」が分類の判断をしたように見える。しかし、蔵書検索システムからも分かるように、NDC とは全く異なった分類体系を使用している¹⁹。

3.4.2 一般的に見える「大ジャンル」の下位区分：事例「人文」

本節では、一般的に見える「大ジャンル」の例として、「人文」、「文学・文芸書」を見ておこう。

表 5 一般的に見える「大ジャンル」の下位区分：事例「人文」、「文学・文芸書」

大ジャンル	中ジャンル
人文	民俗
	宗教
	哲学思想

精神世界
心理
人文

事例 1：ジャンル「人文」

哲学と対決する!

デイヴィッド エドモンズ // 著 ナイジェル ウォーバートン // 著 菅 靖彦 // 訳

出版者：柏書房

出版年：2015.10

ジャンル：人文/哲学思想/西洋哲学思想/その他 西洋哲学思想

NDC 分類：130.4

所蔵館	所蔵場所	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	新着本	130/エ/	112751995	一般図書	帯出可	貸出可

大ジャンル	中ジャンル
文学・文芸書	—
	国内文芸
	歴史・時代小説
	海外文芸
	エッセイ
	ノンフィクション
	雑学・教養
	エンターテインメント
	俳句・短歌
	詩
	文学
	文芸評論
	文学・文芸書

事例 2：ジャンル「文学・文芸書」

花燃ゆ 完結編 NHK 大河ドラマ・ストーリー

出版者：NHK

出版出版年：2015.11

ジャンル：文学・文芸書/エンターテインメント/映画・ドラマ/テレビドラマ

NDC 分類：778.8

所蔵館	所蔵場所	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	新着本	778/ハ3	12751102	一般図書	帯出可	貸出中

大ジャンル「人文」の下位区分の展開が少ないのは、大ジャンルにおいて、「歴史・郷土」、「文学・文芸書」、「経済」、「政治・国際」、「法律」などを独立項目として立てたことによる。TSUTAYA 書店運営上の、出版点数などの物流的根拠によると類推される。

一方、大ジャンル「文学・文芸書」には、「歴史・時代小説」、「雑学・教養」、「エンターテインメント」など特異な中ジャンルも存在している。これらについても、TSUTAYA 書店を想起すれば、概ねその部分の平台や書棚の書籍が浮かんでくる。

なお、大ジャンル「人文」、「文学・文芸書」の下位区分の最後に、それぞれ「人文」、「文学・文芸書」という同義反復を感じる表現があるが、この中ジャンルのそれぞれは、「その他の人文」、「その他の文学・文芸書」と解される。

3.4.3 特有の「中ジャンル」の下位区分 ; 「小ジャンル」

では、第三次区分はどのようになっているのか。特有の「中ジャンル」の下位区分を見ておこう。

表 6 特有の「中ジャンル」の下位区分

事例 1 : 料理—教養/読物		
大ジャンル	中ジャンル	小ジャンル
料理	教養/読物	グルメエッセイ 食文化 食育 食の安全

大ジャンル「料理」では、「料理」—「教養/読物」—「グルメエッセイ」以下、ユニークな区分が展開されている。

事例 2 : 旅行—テーマ別旅行		
大ジャンル	中ジャンル	小ジャンル
旅行	テーマ別旅行	あの人の行った旅 世界を旅する 海外で暮らす リゾート LONELY PLANET

世界の食めぐり
鉄道・船の旅
建築・アート・カルチャー
聖地・仏閣めぐり
歴史の旅
文学を旅する
ドライブ・ツーリング
家族旅行
女子旅・一人旅
ペットと行く旅
テーマパーク
温泉
ホテル・宿泊
日本の食めぐり
その他国内テーマ別旅行
その他国外テーマ別旅行

同じく、大ジャンル「旅行」では、「旅行」－「テーマ別旅行」－「あの人の行った旅」以下、ユニークな区分が、中ジャンルー小ジャンルで展開されている。

3.4.4 「仕切」、「細目」

小ジャンル下位区分に「仕切」、「細目」という項目がある。例えば、上の事例を展開して見ると、「旅行」－「テーマ別旅行」－「あの人の行った旅」－「あの人の行った旅」－「国内・国外」となっている。武雄市図書館のOPACでは存在しなかった項目である。TSUTAYA書店グループでの商品管理、売上動向管理などに使用されている項目ではないかと推測される。

大ジャンル「料理」から、最も特徴的な展開を抜粋しておく。

表8 大ジャンル「料理」の詳細展開

大ジャンル	中ジャンル	小ジャンル	仕切	細目
料理	食卓のレシピ	日々のごはんの達人	同左	青山有紀 有元葉子 (以下、略)

このように詳細展開では、個々の「ごはんの達人」たちの固有本レベルが展開されている。仮にこの区分体系で資料を配列すると、「日々のごはん」は料理種別ではなく、「ごはんの達

人」別の料理本の配列となる。大型書店の平台、書棚のありさまが想起される。

4. 独自分類(ライフスタイル分類)の検討

CCC は、海老名市立中央図書館の新装開館においては、独自分類(ライフスタイル分類)によって、31 万冊を再分類した。同図書館の分類体系は、大ジャンルー中ジャンルー小ジャンル、という 3 層構造の下に、「仕切」－「細目」という 2 層展開を持つ。これについて総合的に検討を進める。

4.1 ライフスタイル分類：CCC グループ共通の分類

以上に検討をしてきたように、海老名市立中央図書館の OPAC に実装されているライフスタイル分類は、単に図書館のために開発された分類体系ではなく、CCC グループ共通の分類である。区分の基本は、主題・観点に依拠する一般的な図書館分類体系と異なり、テーマ(トピックス)中心の体系である。その基本は、「TSUTAYA 書店」の発展の中で、開発、修正が行われてきた、と推測される。

レンタル事業を核としてフランチャイズを運営展開してきたレンタル事業モデル「TSUTAYA」が、レンタル事業の不振傾向から、「TSUTAYA 書店」事業へと変身し、さらに中核事業会社 CCC を、生活提案型事業開発会社へと変貌させてきた。事業展開は、複合型商業施設「T-SITE」の開発、高付加価値店舗である「蔦屋書店」モデル、「蔦屋家電」モデルの開発と、その FC 展開などがある。

この CCC グループの事業展開の一つに武雄市図書館を皮切りとした「ツタヤ図書館」も位置づけられよう。「図書館というより、カフェ併設の大型店の 1 つと考えればわかりやすい。」との意見もある²⁰。

4.1.1 分類展開の特徴

(1) ライフスタイル分類を詳細に観察すると、同一トピックスの資料が、複数のジャンルの下に分散していることが分かる。こうした資料の配置手法は、一般的な大型書店の書籍配置と重なる。図書館での書架分類では、同一資料の書架分類上の配架位置は同一であり、書誌分類には OPAC 上の分類記号付与で対応してきた。ライフスタイル分類には、同一資料を複数ジャンルの下に分散配置する書店の流儀が反映されている。

以下に事例を示しておく。

表 9 複数ジャンルの下に分散する下位ジャンル

事例 1：大ジャンルの異なり例；「ヨガ」

美容・健康－健康－健康に暮らす－ヨガ

人文－精神世界－瞑想・気功・ヨーガ－ヨーガ

事例 2 : 中ジャンルの異なり例 ; 「絵手紙」

趣味実用－日本文化－水墨画－絵手紙

趣味実用－趣味の絵画－絵画技法－絵画技法－絵手紙

(2) 事典、一般、その他、という展開構造パターン

第二の特徴は、次のような事例である。

表 10 「事典」、「一般」、「その他」の列挙順序

大ジャンル	中ジャンル	小ジャンル	仕分
趣味実用	日本文化	茶道	茶道事典
			茶道一般
			表千家
			裏千家
			道具
			その他 茶道

このように「〇〇事典」、「〇〇一般」の間に個別トピックスを挟んで、最後に「その他〇〇」で終わる展開がパターンである。もしこの区分展開に従って、資料(商品)を配列すれば、主題(トピックス)事典が先頭にあり、次に主題(トピックス)一般が配列し、続けて主題(トピックス)の個別テーマが並ぶことになる。なお、個別テーマの詳細展開は、「TSUTAYA 書店」グループでの商品(書籍)の流通量の反映と考えられる。

4.1.2 「旅行」、「料理」ジャンルなどでの固有名詞展開

多くのジャンルで第 4 段階以降の「仕切」レベル、「細目」レベルで固有名詞の展開が見られる。図書館においては、所在記号の著者記号、分冊記号のレベルである。事例を示す。

表 11 「細目」レベルでの固有名詞の展開

事例 1 : 大ジャンル「旅行」; 固有名詞「るるぶ」の展開

旅行－旅行シリーズ別－るるぶ－国内るるぶ

事例 2 : 個別の料理研究家までの「展開」

料理－食卓のレシピ－日々のごはんの達人－日々のごはんの達人－栗原はるみ

ここで表 11 の事例 2 を例に取れば、OPAC での検索結果は次のように表示される。

表 12 書誌詳細表示

栗原さんちの朝 20 分のお弁当						
著者：栗原はるみ / 著						
出版者：文化出版局						
出版年：1992.3						
ジャンル：料理/食卓のレシピ/日々の料理の達人/日々の料理の達人/栗原はるみ						
NDC 分類：596.4						
所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：1 件)						
所蔵館	所蔵場所	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	料理	596/ク	1596171	一般図書	帯出可	貸出可

この表示では、所蔵場所の表示「料理」が 2 階に配置されていることを知らなければ、資料へのアプローチが困難である。また、2 階の「料理」ブロックの中で、「食卓のレシピ」コーナー → 「日々の料理の達人」サブコーナー → 「栗原はるみ」、とたどることになる。

4.1.3 雑貨関係等の展開

独自分類には、雑貨関係の項目も存在する。「蔦屋書店」での展開の反映と考えられる。事例を示す。

表 13 雑貨等の関係ジャンル

事例 1：大ジャンル「ファッション」
ファッションーファッションー男性ファッションー男性ファッション
ー小物
ー革製品
ー時計
(以下、略)
事例 2：大ジャンル「美容・健康」
美容・健康ー美容ースキンケアーオーガニック・コスメ

4.1.4 小考察

以上に検討を行ったように、CCC グループのライフスタイル分類は、大型書店の書籍配

置と同じく、同一トピックの資料を複数ジャンルの下に分散させている。このため OPAC の検索結果（例えば、所蔵場所 料理）から、資料にたどりつくのが容易ではない。こうした点を捨象して、驚きの発見の分類と自賛するのはいかなるものであろうか。

また、例えば雑貨類等の関係ジャンルで見たように、「男性ファッション」の下位区分に「小物」、「革製品」、「時計」などの書籍ではなく雑貨類の分類も混在している。

5. ライフスタイル分類と所在

図書館において所在記号は、書架分類記号、別置記号、著者記号、巻冊記号などから構成されている。所在記号は資料に貼付し、所在場所(ロケーション)における書架上の相対的位置を示すと共に、図書館員にとっては、返却資料の書架戻しの基本キーとなる。

しかし、海老名市立中央図書館における資料ラベルを見た範囲では、2 段表示の上が大ジャンルの文字列であり、下段が NDC 分類番号及び図書記号である。1 段目の大ジャンル表示は、25 種類あり、大ジャンル名称別での書架戻し作業をスムーズに行えない。これでは効率の良い書架戻しが困難である。

また、同一ジャンルの中でも、「飾」表記がある。これは書架上部のインテリア的に配置された資料群の配置コードである。利用者には不明なコードであり、図書館員の配架作業をより困難にしている。事例を示しておく²¹。

表 14 所蔵場所「飾料理」

日本古典文学大系						
出版者：岩波書店						
出版年：1977						
ジャンル：文学・文芸書/文学・文芸書/全集/古典文学全集						
NDC 分類：918						
所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：1 件)						
所蔵館	所蔵場所(棚番)	請求記号	資料コード	資料区分	帯出区分	状態
中央図書館	飾料理	/918/=/2	110074986	一般図書	帯出可	貸出可

増田は「書籍の分類は全て変えました。図書館に来る人たちがイメージしやすいように、ライフスタイルを切り口に陳列しました」²²と述べている。また分類方針を変更する気は無い旨を述べている²³。

ライフスタイル分類を継続し、円滑な業務進行を進めるには、29 の大ジャンル、及び下位区分である中ジャンル、小ジャンルの個々の段階で、明確な記号法の採用が必須である。

試案として、稿末別の別表 1 と別表 2 に「大ジャンル」、「中ジャンル」の段階に対して、

記号法を展開してみた。実務的な分類表としては、さらに「小ジャンル」(NDCでの第三次区分表に該当)、「仕切」、「細目」のレベルまでの分類表展開が必要であろう。また、これに対応した「関連索引」も必須と考える。

いずれにせよ、図書館と書店の大きな相違は、書店の平台、書棚の図書は販売されるか、返品されるかである。一方、図書館の資料は必ず返却がされ、書架戻し業務が伴う。海老名市立中央図書館での運営の混乱の一因は、記号法のない独自分類の採用にあるのではない。ただし、書店の商品としての書籍には、図書ラベルの貼付はない。

6. さいごに

本稿では、CCCが指定管理者として受託するツタヤ図書館について、佐賀県武雄市図書館、神奈川県海老名市立中央図書館を事例に、その独自分類(ライフスタイル分類とCCC自体が自称)について、検討を進めた。

CCCは独自分類を特色として、商業ゾーンT-SITEの展開と共に、生活提案型の付加価値店舗モデル—蔦屋書店、蔦屋家電など—を開発し、フランチャイズ展開をしようとしている。本稿で検討したツタヤ図書館もそうしたフランチャイズモデル開発の図書館版であろう。基本は蔦屋書店の空間演出、展開と分類体系を背景として、ブラウジングでの資料との偶然の出会いを演出しようとしている。そうであればこそ、特定主題等の目的的な利用要求には、OPAC検索と資料配架場所等が適切に示されることが大切となる。

蔦屋書店では商品は販売されれば、顧客からの「返品」は原則としてない。また、書棚と平台の空間で商品のアピールを行い、そこで展開される書棚の空間連続性を通じて、来店客へ「セレンディピティ」の提供をすることを増田宗昭社長は、「生活提案」という²⁴。よって、いくつかの主題区分軸において、同一の図書(商品)が、複数箇所に点在することは当然あり得る。

一方、図書館では貸出—返却—書架戻しのサイクルが循環している。図書館はなによりも、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し」(図書館法第2条)を目的とするコミュニティの記憶装置、地域の「場」である。

よって図書館では基本的にNDCに従い、書架分類を基本に所在記号を付与し、資料ラベルを貼付する。所在記号と書架上の資料の相対的位置が結びつき、書架戻しが円滑に行える。OPACでは、著者、タイトル、キーワードからの検索だけでなく、複数の主題(サブジェクトとトピックス)からの検索にも対応している。さらに、全国総合目録へのアプローチやネットワーク情報資源へのアクセスなども保証し、提供している。

本稿で取り上げた2つのツタヤ図書館における「検索・予約システム」でのジャンル(カテゴリー)の展開は、明らかに商品流通を管理する蔦屋書店の内容であった。これを「ライフスタイル分類」の美辞麗句に包んで、図書館運営の「ノウハウ」の核とするのは無理があるろう。

最後に、武雄市図書館分類表、海老名市立図書館分類表については、それぞれの OPAC からリバースして独自に作成し、論文中で使用していたところ、先行の「私家版」を偶然に発見し、原稿のほぼ最終校正時に参考にさせていただいた。記して謝したい。なお、両図書館の分類体系については、ネット上で公開されている^{2,5}。

注)

1 カルチュア・コンビニエンス・クラブ <http://www.ccc.co.jp/answer/index.html>
[確認：2016.01.01]

2 DVD 等のレンタル事業の縮小を受けて、2011 年 7 月、増田氏は MBO(経営者参加の企業買収)を実施、レンタル企業から、「リッチな」生活提案の企画会社への転換を期した。

3 ある意味、TSUTAYA 書店については、1980 年代の堤清二氏が展開した西武百貨店のパルコ文化や書店リブロなどが想起されるが、TSUTAYA 書店モデルは、CCC の FC(フランチャイズ)事業である。

『週刊東洋経済』2015 年 10 月 31 日号によれば、「書籍に限らず何でもインターネット通販で手に入る時代に、『来たくなる、来ると買いたくなる』仕掛けと、それに要するミニマムコストを模索してきた。つまり、これらの店舗は、R&D(研究開発)拠点だ。そして見いだした黄金法則が、浦和に投入される。(中略)FC(フランチャイズ)企業が、浦和を雛形とした蔦屋書店を開く見通しだ。」と述べている。(同誌、p.39)

企画会社である CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)を親会社として、中核子会社として、TSUTAYA(直営店と FC で展開)、カルチュア・エンタテインメント(書籍・映像などの SPA 事業)、CCC マーケティング(T-POINT ; 100 社 43 万店が加盟)、T-MEDIA(DVD の宅配レンタルなどネット事業展開)など、多様な事業展開を行うグループ企業である。また、日版との共同出資で MPD(FC 専用取次)を持つ。

同誌は、「消費者に新しいライフスタイルを示すことができる店舗とサービスを企画し、FC 企業に対して提案する会社」(p.43)と述べる。

同誌によるとグループの収益源は、FC 料 5 割、直営 2 割強、T ポイント 2 割強、インターネット 1 割強が、売上高構成のイメージであり、グループ全体では 2015 年 3 月決算で、1,200 億円の書店売り上げを持つ日本一の書店グループである。

「ツタヤ図書館」の受託は、CCC デザインカンパニーで受けている。

4 代表的な批判に次がある。

田井郁久雄「海老名市立中央図書館の問題は何か～図書館と書店、CCC と TRC」『談論風発』Vol.10 No.2, 2015.10, p.1-5.

田井郁久雄「虚像の民営化『ツタヤ図書館』」『世界』No.876, 2015.12, p.196-205.

5 小牧市「新図書館の建設」

<http://www.city.komaki.aichi.jp/shogaigakushu/library/010859.html>

[確認：2016.01.01]

6 「TSUTAYA 図書館は何を目指すのか？CCC の責任者が語る現状と『未来』」2015 年 11 月 12 日『HUFF POST Society』

<http://www.huffingtonpost.jp> [確認：2016.01.01]

同記事は、2015 年 11 月 11 日、横浜市で開催された第 17 回図書館総合展のフォーラムでの CCC の図書館カンパニー長の高橋聡氏の発言である。

なお、フォーラムの記録動画は、次を参照。

<http://www.libraryfair.jp/forum/2015/1852> [確認：2016.01.01]

7 海老名市立図書館は複数館で構成されている。OPAC と図書館全体での共通システムで

は、海老名市立図書館と表記し、委託対象の中央図書館については海老名市立中央図書館と表記した。

8 川瀬綾子、北克一「「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する その2 -武雄市図書館、海老名市図書館の「こどもとしょかん」検索システムにおけるジャンル(カテゴリー)設定を手掛かりに-」『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3. [掲載予定] <http://techser.info/>

9 武雄市図書館 <https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/opac/top.do>
[確認：2016.01.01]

10 ただし、ジャンルによって第一ジャンルだけのジャンル、第二ジャンルまでのジャンルなど、さまざまである。ジャンル組み立ての下は、TSUTAYA 書店グループで使用してきたシステムの区分と推測される。グループ書店における新刊取扱い実績に応じて、ジャンル展開を行っているものと考えられる。

11 この独自分類(ライフスタイル分類)について、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)社長の増田宗昭氏は、インタビューにおいて次のように述べている。

—CCCの独自分類が戻しにくくしているのでは。利用者も探しにくい。

増田；探しにくいっていう人もいるし、発見があるっていう人もいる。

—もし、自治体が「いや、これは探しにくさのデメリットのほうが大きい」となったら.....。

増田；それはCCCを採用しない。

—となると分類方法を変える？

増田；いや、変えない。市が俺たちを採用しないってことよ。俺らの持ち味は独自分類だから。

—CCCが指定管理者である以上は、独自分類を続けるということですか？

増田；じゃなければやる意味がない。

「独占直撃 図書館のこと、本のことすべてに込めよう」『週刊東洋経済』2015年10月31日号, p.53.

12 日本図書コードの分類コード(Cコード)は、書籍の販売対象、発行形態、内容を4桁のコードで表現したものである。一般的に、書店の書籍配架の参照として用いられる。

日本著者販促センター「分類コードの構成表」<http://www.1book.co.jp/000934.html>

[確認：2016.01.01]

Cyber Librarian 「日本図書コードの分類コード(Cコード)」<http://www.asahi-net.or.jp/~ax2s-kmtm/ref/ccode.html> [確認：2016.01.01]

第1桁目：販売対象コード

コード	内容
0	一般
1	教養
2	実用
3	専門
5	婦人
6	学参Ⅰ (小中学生対象)
7	学参Ⅱ (高校生対象)
8	学参Ⅲ (小学生以下対象)
9	雑誌扱い

第2桁目：発行形態

コード	内容
0	単行本
1	文庫
2	新書

3	全書・双書
5	事・辞典
6	図鑑
7	絵本
8	磁性 媒体 など
9	コミック

第3-4桁：内容

コード 内容

00	総記
01	百科事典
02	年鑑・雑誌
04	情報科学
10	哲学
11	心理(学)
12	倫理(学)
14	宗教
15	仏教
16	キリスト教
20	歴史総記
21	日本歴史
22	外国歴史
23	伝記
25	地理
26	旅行
30	社会科学総記

(以下、略)

¹³ 海老名市立図書館の運営を巡る一連の「騒動」については、例えばハフィントンポストは、次のように報じている。

「[TSUTAYA 図書館] 図書館流通センターが一転 CCC との共同運営を継続する「理由」

『TSUTAYA』を展開するカルチャ・コンビニエンス・クラブ(CCC)が指定管理者となり、10月にリニューアルオープンした神奈川県海老名市立中央図書館。そのパートナーで共同事業体の図書館流通センター(TRC)が、図書館に対する理念の相違から CCC との協力関係を解消するとして問題が一転、今後も指定管理者を継続していくことになった。」

HUFF POST SOCTY, 2015年11月27日

<http://www.huffingtonpost.jp> [確認：2016.01.01]

¹⁴ 統括館長である谷一氏が、海老名市中央図書館で CCC が採用したライフスタイル分類を公的に批判するということに、疑問なしとはしないが、海老名市図書館の現場をもっともよく知る方の素直な意見表明と受け止めて、少し長文になるが引用、紹介をする。

——海老名では CCC とどう協業していますか。

海老名には中央と有馬という2つの市立図書館があり、TRC はもともとこの2館を業務受託していた。その経緯があって CCC と共同事業体を組んだが、実際には中央を CCC、

有馬を TRC が分担して運営している。問題となっている中央の運営には当社は関与して

いない。

共同事業体を組む上で、CCCによる独自分類(ライフスタイル分類)には大きな懸念を感じていた。先に CCC が指定管理者を務めていた佐賀県武雄市図書館で、返却本が書架に

戻せずたまっており、司書が苦勞しているという状況があった。

これがさらに蔵書数の多い海老名に導入されたら大変なことになると危惧していた。独自分類は本との新しい出会いを生むという触れ込みだが、CCC に対して「出会いはいいが、返却後に返せなくなる、本が探せなくなるのではないか。本当にあの分類で大丈夫か」とあらかじめ疑問を呈していた。

だが 9 月末、リニューアルオープンした中央の内覧会で、やはり独自分類が導入されていることを知り落胆した。「分類方法を改善すべき」と改めて提言したが、CCC の図書

館事業の責任者からは「独自分類は当初からの提案。市もそれでいきましょうと言っている。変えるつもりはない。間違ったジャンルに分類されている場合は、その都度修正する」という回答だった。市にも問題があると、改めて申し上げてある。率直なところ、

あの分類は図書館としてはノーだ。

——独自分類のどこが具体的に問題ですか。

実際に本を検索していただければわかるが、どう見ても素人がタイトルや単語だけを見て判断したとしかいえない分類がある。たとえば著名な作家の食べ物に関する随筆が、

料理本に分類されているような例だ。

また独自分類の詳細な区分表が開示されておらず、系統立てて理解することが第三者にはできない。(以下、略)

「TSUTAYA 図書館に協賛企業が呆れた理由：CCC との公立図書館運営の協業見直しへ」『東洋経済オンライン』2015 年 11 月 24 日

<http://toyokeizai.net/articles/-/90216> [確認：2016.01.01]

一方、CCC の増田宗昭社長は、武雄市図書館運営に関連して、独自分類(ライフスタイル分類)について次のように述べている。

TSUTAYA では、文学、料理、旅、車.....といったジャンルでまずエリアを分け、そこに関連する雑誌や単行本や古書までを配していく。提案を売るのであれば、近い提案内容のものをまとめておくほうが、顧客にとって使いやすさ、つまり顧客価値が大きいからだ。「武雄市図書館」の運営を委託された際に、私たちが本の分類を日本十進分類法か

ら変更することにこだわったのも、同じ理由だ。これまで日本中の図書館がこの分類で動いてきたのはわかる。しかしだからといってそれにこだわり続けるのは、図書館の事情を利用者に押し付けているだけではないのか。そう考えたからなのだ。

楽園計画編『図書館が街を創る。：「武雄市図書館という挑戦」ネコ・パブリッシング、2013.4, p.121.

言語明瞭、意味不明瞭な発言である。なお、同書の出版社であるネコ・パブリッシングは、CCC グループの子会社である。

¹⁵ 「ご利用ガイド」 <https://ebina.city-library.jp/library/ja/guide> [確認：2016.01.01]

¹⁶ 「[TSUTAYA 図書館] 図書館流通センターが一転 CCC との共同運営を継続する『理由』」2015 年 10 月 31 日『HUFF POST Society』

<http://www.huffingtonpost.jp> [確認：2016.01.01]

17 なお、ISBN が表示されない、出版者名が長い場合、途中でカットされており、図書館の蔵書検索システムとして違和感を覚える。

18 前掲 14)

19 海老名市の金指教育部次長は、明らかに間違いとされる分類は順次修正するとしているが、インターネット上では「ツタヤ分類」のスレッドが数多く立ち、「間違いさがし」が半ばゲーム化している。

20 「バッシングを浴びる『ツタヤ図書館』に見る増田宗昭氏の仕事術(前)』『コダマの核心』2015年11月16日。http://www.data-max.co.jp/kodama/271116_11_ks01/
[確認：2016.01.01]

21 次のブログに示唆を受けた。記して謝したい。

「海老名市中央図書館に行ってきた(1)『けんぶつざえもん：見たり読んだりしたことについて、ときどき書きます』

http://argmibe.hatenadiary/2015/10/05/233746 [確認：2016.01.01]

22 事業構想大学院大学「MPD 特別講義 CCC 創業者、増田社長が語る TSUTAYA の構想と戦略」http://www.projectdesign.jp/201509/special-lecture/002433.php

[確認：2016.01.01]

23 前掲 11)

24 一瞬は、「平泉棚とリブロの時代」を想起したが、あれはその時代に展開された強烈な個性と思想の展開であった。現在の CCC のそれは思想性の薄い、1970 年代ごろの米国百貨店棟で試みられた「ライフスタイル販売」の 21 世紀版の展開のように思える。

今泉正光著『「今泉棚」とリブロの時代』(出版人に聞く；1)，論創社，2010.9.

25 武雄市図書館分類表[私家版] 2013年9月24日作成

https://www.nantoka.com/~kei/TakeoReferences/%5B%E3%81%9D%E3%81%AE%E4%BB%96%5D%20%E6%AD%A6%E9%9B%84%E5%B8%82%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8%E5%88%86%E9%A1%9E%E8%A1%A8%202013-09-23.pdf

[確認：2016.01.01]

海老名市立中央図書館分類表[私家版] 2015年10月3日作成

https://www.nantoka.com/~kei/TakeoReferences/%5B%E3%81%9D%E3%81%AE%E4%BB%96%5D%20%E6%B5%B7%E8%80%81%E5%90%8D%E5%B8%82%E7%AB%8B%E4%B8%AD%E5%A4%AE%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8%E5%88%86%E9%A1%9E%E8%A1%A8%202015-10-03.pdf

[確認：2016.01.01]

別表 1 海老名市立図書館 第一次区分表

1 料理	J 経済
2 旅行	K ビジネス
3 住まいと暮らし	L 政治・国際
4 美容・健康	N 社会
5 ファッション	O 法律
6 スポーツ・アウトドア	P IT
7 趣味実用	Q 自然科学
8 人文	R 産業

A 児童書	S 技術
	T 建築
	U 医療・看護福祉
D 語学・参考書	V 教育
E 文学・文芸書	W 雑誌
F 歴史・郷土	X コミック
G アート	Y 洋書
	Z AV資料

別表2 海老名市立図書館 第二次区分表

1 料理

- 11 キッチン
- 12 おもてなし
- 13 食卓のレシピ
- 14 お酒
- 15 教養/読み物
- 19 料理(全集)

2 旅行

- 21 テーマ別旅行
- 22 国内旅行
- 23 海外来旅行
- 24 旅行シリーズ別
- 25 観光事業
- 26 旅行地図
- 29 旅行(全集)

3 住まいと暮らし

- 31 ライフスタイル
- 32 住まい
- 33 暮らし
- 34 ペットと暮らす
- 35 緑のある暮らし
- 36 クラフト
- 39 住まいと暮らし(全集)

4 美容・健康

- 41 美容
- 42 健康
- 43 出産・育児
- 49 美容・健康(全集)

5 ファッション

- 51 ファッション
- 59 ファッション(全集)

6 スポーツ・アウトドア

- 61 スポーツ
- 62 アウトドア
- 69 スポーツ・アウトドア

7 趣味実用

- 71 日本文化
- 72 陶芸・工芸
- 73 趣味の絵画
- 74 音楽・演奏
- 75 カメラ
- 76 鉄道
- 77 クルマ
- 78 バイク
- 79 クルマ・バイク
- 7A 乗り物
- 7B コレクション
- 7C ミリタリー
- 7D ゲーム
- 7E 競馬
- 7F ギャンブル
- 7G 占い
- 7H 趣味実用(全集)

8 人文

-
- 81 民俗
 - 82 宗教
 - 83 哲学思想
 - 84 精神世界
 - 85 心理
 - 89 人文(全集)

A 児童書

- A1 絵本
- A2 紙芝居
- A3 読み物
- A4 学ぶ
- A5 作る・あそぶ
- A6 事典・図鑑
- A9 児童書(全集)

D 語学・参考書

- D1 言語学
- D2 日本語
- D3 英語
- D4 英検・TOEIC
- D5 その他各国語
- D6 辞書・事典
- D7 学習参考書
- D8 資格・就職

E 文学・文芸書

- E1 国内文芸
- E2 歴史・時代小説
- E3 海外文芸
- E4 エッセイ
- E5 ノンフィクション
- E6 雑学・教養
- E7 エンターテイメント
- E8 俳句・短歌
- E9 詩

-
- EA 文学
 - EB 文芸評論
 - EZ 文学・文芸書(全集・文庫・オーディオブック)

F 歴史・郷土

- F1 世界史
- F2 日本史
- F3 郷土
- F4 地図
- F9 歴史・郷土(全集)
- FA 行政資料

G アート

- G1 美術
- G2 画集
- G3 デザイン
- G4 写真集
- G5 演劇・舞踏
- G6 映画
- G7 音楽
- G9 アート(全集)

J 経済

- J1 経済
- J2 金融

K ビジネス

- K1 経営
- K2 業界・企業
- K3 マーケティング・セールス
- K4 独立・開業
- K5 法務・人事・労務
- K6 税務・会計・経理
- K7 仕事術
- K8 自己啓発
- K9 生活設計

KZ ビジネス(全集)

L 政治・国際

L1 政治

L2 国際

L9 政治・国際(全集)

N 社会

N1 社会

O 法律

O1 法律

P IT

P1 情報科学

P2 パソコン一般

P3 パソコン入門

P4 ハードウェア

P5 Apple

P6 アプリケーション

P7 グラフィック

P8 Web 作成

P9 プログラミング言語

PA Linux・Unix

PB ネットワーク

PC IT(全集)

Q 自然科学

Q1 数学

Q2 理学

Q3 自然科学(全集)

R 産業

R1 産業

S 技術

S1 土木

S2 電気・電子

S3 機械

S4 工学

S5 技術

T 建築

T1 建築

U 医療・看護福祉

U1 医学

U2 看護

U3 介護・福祉

U4 医療・看護福祉(全集)

V 教育

V1 教育・保育

W 雑誌

W1 雑誌

X コミック

X1 コミック

Y 洋書

Y1 洋書

Z AV資料

Z1 AV資料

(かわせ あやこ 京都精華大学)
(きた かついち 相愛大学)
(2016年1月10日受付)
(2016年3月4日受理)